

聖火リレー



本市の最終ランナーを務め、聖火皿への点火後にあいさつする城島健司さん

5月8日(土)、東京2020オリンピック聖火リレーが本市で開催されました。7日、南島原市をスタート地点として始まった長崎県の聖火リレーは、島原市、雲仙市、壱岐市、新上五島町、諫早市、大村市、長崎市を巡り、8日には長与町、時津町、西海市、五島市、対馬市、松浦市、平戸市、佐々町を巡って、本市が最後のゴール地点となりました。本市のルートは松浦公園から新みなと暫定広場までの約2.4kmで、16人の聖火ランナーによって聖火が繋がりました。

当日の最終聖火ランナーの到着を祝うセレブレーション会場では、観客数を当初予定の半数に削減し、検温などの新型コロナウイルス感染症の対策を講じた上でさまざまな催しが行われました。

メインステージでは、よさこい演舞や和太鼓演奏などの催しが披露され、最後に最終ランナーによって聖火皿に聖火が灯されると、場内の観覧者から大きな拍手が送られました。

今回の聖火リレーの開催に当たっては、ルート周辺にお住まいの皆さまをはじめ、周辺道路をご利用の皆さま、交通整理などをしていただいたボランティアスタッフの皆さまなど、多くの方々にご協力をいただき、ありがとうございました。

公式サイトでは当日の動画や写真をご覧いただけます



☎スポーツ振興課 ☎ 24-1111



会場内のブースでトーチキスを体験する来場者の皆さん



よさこい演舞を熱演しセレモニーを盛り上げていただいた市内チームの皆さん



新型コロナウイルス感染症対策として会場入口で検温を行う運営スタッフ



本市のルートを走る聖火ランナーの皆さん

